高岸税務会計事務所 ニュースレター

当税理士事務所は気軽に相談でき、親身に相談にのる税務・財務のスペシャリストです

<u>高岸税務会計事務所</u>

〒569-0803 大阪府高槻市高槻町 9-19 カサノブレ 202

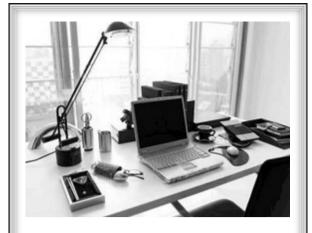
電話:072-683-0230 FAX:072-683-0376

http://www.gishitax.com/
mail: info@gishitax.com

お気軽にお問合わせ下さい 072-683-0230

た、掛金は毎月1000円~7万円の範囲内で自由に選

メリットは、共済金が「退職所得扱い」となること。



【コラム】 年明けから早くも三ヶ月。「一月は往(い)ぬる、二月は逃げる、三月は去る」とはよく言ったものです。 時間に追われているからなのか、それとも毎日が充実している証でしょうか。願わくば、少しずつでも前進しているがゆえの「時の早さ」であってほしいものですね。「歳月人を待たず」です。

るということはとても心強く、また、その方への思いもありました。身内でなくとも事業を継いでくれる人がいたいと思うのですが可能でしょうか?」というご質問がの従業員に対して小規模企業共済に加入するよう勧めですが従業員の一人を考えています。そこで後継者候補ら退きたいと思っています。後継者は、身内ではないの

生活資金等をあらかじめ積み立てておく制度で、小規模をやめられたとき、会社等の役員を退職したときなどの格別でしょう。「小規模企業共済制度」とは、個人事業

ことができます。

経営者という形で要件を今回のケースでは、共同となることです。



入することができるようになりました。この共済制度の経営者として「個人事業主一人につき、二人まで、」加られておらず、その配偶者や後継者の方は加入できませこれまで個人事業においては事業主にしか加入が認め入中小企業基盤整備機構」が運営しているものです。企業共済法に基づき国が全額出資している「独立行政法企業共済法に基づき国が全額出資している「独立行政法

【「何でもできる」ではなく「これだけは負けない!」】

名刺整理に悩むビジネスマンの注目を集めているキングジムの「ピットレック」。内臓カメラで名刺をスキャンし、画像を保存するデジタル名刺ホルダーで、最大約1万人分の名刺の持ち歩きが可能です。文字認識機能により会社名と氏名を登録でき、名前やキーワードによる整理、検索がこれ一台で完結します。名刺交換というアナログな商習慣を、多機能化する携帯電話やパソコンとは切り離し、本当に必要な「名刺の保存だけ」という役割に特化したセンスが秀逸です。



【小規模企業共済加入を勧めたいのですが】

左官業を営むある個人事業主から「あと三年で第一線

【今月の教えてキーワード:日銀短観】

業短 しが集約され、 企業の業況見 は される。中でも う上では最重 い」の回答割合に と良くない」「 ンプル数も回 Eついての判断 F心とした業況 主要(全国) 注目されるの ついて企業 ついての判 査をするも 本 企業の収益 相当に高 加経済観 のひとつと の動向を占 状と先行 サ

【ウサギが負けたその理由】

兎年の今年は、「ウサギのようにぴょんぴょん跳ねて」のたとえをよく耳にします。元気よく飛び跳ねるのはいいけれど、『ウサギとカメ』のお話では競争の途中で居眠りをしたウサギがカメに負けるという結末でした。

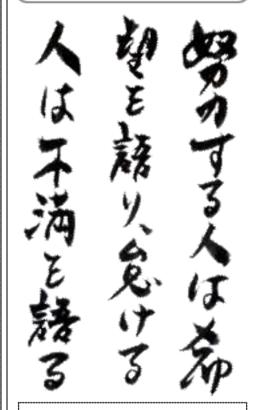
「どうしてウサギはカメに負けたと思いますか?」五十代のある 男性経営者が、たまたま同席していた二人に訊いたそうです。「ウ サギの怠慢だと思います」と答えたのはパート勤務の四十代主婦。 「カメはコツコツ努力したから」と答えたのは飲食店を経営する 三十代の男性。質問をした男性経営者の解釈は、二人とはまった く違うものだったようです。「私はね、カメの目的が"ゴール"だったからだと思うんです。 ウサギの目的は「カメ」だった。カメを追い抜かすことがウサギの目的だったからウサギはカメを見ていた。だが一方のカメは、最初からゴールすることしか考えていなかった。だからカメの目的は「ウサギ」じゃなくて「ゴール」だった。たまたまウサギに勝ったけれど、カメはただひたすらにゴールを目指していただけでウサギのことは見ていない。ウサギはカメに負けて、カメは自分に勝った。横を見て競争していたウサギと、常に目的意識を持って前を見ていたカメの差だと思うんですよ・・・。



『ウサギとカメ』はよくたとえ話に使われます。いくらウサギが俊足でも途中で努力を怠れば鈍足のカメに追い抜かれる。鈍足のカメでも努力を続ければ俊足のウサギに勝てる。これが一般的なたとえ話でしょう。物語の解釈に

正解はありません。とはいえ、解釈にはその人の人生観のようなものが投影されます。「ウサギの怠慢」と答えた女性は「カメの目的はゴールだった」という解釈を聞き、今の自分は現状維持のための努力はしていても前を向いていないと思ったそうです。商売の目的が明確であれば、ウサギのようにぴょんぴょん跳ねてもカメのようにゆっくりじっくり進んでも、いずれはちゃんとゴールに到着します。しっかりと前を見て行きたいものですね。

今を生きる先人の言葉



日本を代表する小説家であり、文 化勲章受章者でもある井上靖の 言葉。まず希望ありきで努力する のではなく、頑張っている最中に 希望は湧き出てくるものである。



http://www.gishitax.com/